

くま地域飼料用米栽培ごよみ

球磨地域振興局
農業普及・振興課
JAくま監修
令和4年1月作成

(飼料用米の収穫後にわら取りを行う場合は使用農薬が制限されますので WCS 用稲栽培ごよみに従って栽培してください。)

栽培上の留意点

1. 専用品種を選び適期移植を行いましょう。
2. 多収を目指すため多肥栽培を行いましょう。
3. 捨てづくりは厳禁です。適切な栽培管理を行いましょう。
4. 主食用米への混入を防ぐために十分注意しましょう。

品種の選定

飼料米専用品種

「夢あおば」

移植の遅れは収量・品質の低下の原因になります。移植時期は守りましょう。

夢あおば 生育のめやす		出典元 (球磨農業研究所 H28、29 平均値)	
移植時期	出穂期	成熟期	
6月10日	8月12日	10月4日	
6月20日	8月21日	10月15日	

施肥設計

ほ場条件により異なりますが、10a 当たり窒素成分で 10 kg 以上を目安に施用しましょう。

基肥・追肥体系 (完熟堆肥 2,000kg を投入)

施肥体系	肥料名	施肥量	N	P	K
基肥	スーパーエンリッチ1号	60		9.0	
	JAくま48号	40	6.4	6.4	6.4
穂肥 (出穂25日前)	JAくま454号	20	2.8	1	2.8
晩期穂肥 (出穂10日前)	JAくま454号	15	2.1	0.8	2.1
合計			11.3	17.2	11.3

一発肥料体系 (完熟堆肥 2,000kg を投入)

肥料名	施肥量	N	P	K
土改王	45		2.3	4.6
多収米ひとつり	40	10	2.4	2.4
合計		10.0	4.7	7.0

※基肥は前作や地力、品種に応じて施肥量を調整する。
※晩期穂肥を省略する場合は基肥量を増やし穂肥を出穂20日前を目安に施用する。
※完熟堆肥の散布が不可能であればアヅミン又はJフミン40kg/10aを施用する。

防除

収量・品質の向上を図るとともに周囲のほ場への影響を考慮して適切な防除を行いましょう。

出荷基準

出荷形態 錦カントリーエレベーター 岡原ライスセンターへ生モミ出荷

普通期	5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月					
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
施肥	基肥						穂肥																	
生育ステージ	播種			移植			分けつ期			幼穂形成期			出穂期			乳熟期 ~ 登熟期 ~ 成熟期 ~ 収穫期								
防除				箱剤 ・アンコール箱剤 除草剤 ・ワンオール粒剤 ・サラブレッドK ・ボデーガードジャンボ ・アフロアブル						防除 ・アフロドモンカットスターフルF粉剤DL			防除 ・ノンブラストレバリダ粉剤DL			防除 ・Mr.ジョーカー粉剤DL ・スタークル粉剤DL								
注)	ジャンボ剤については残渣が多いほ場では拡散性が劣りますので使用を避けて下さい。																							

農薬散布の留意点などは主食用米基準に準じます。

薬剤散布時には、隣接圃場への飛散防止に努めてください。

薬剤使用にあたっては、必ず商品ラベル表示を確認し記載どおりに使用してください。

不明な点は、各営農センターまたはグリーンセンターへおたずねください。

農薬空容器回収にご協力ください。

使用済みの農薬容器の焼却・廃棄は違法です。

JAくまでは、年2回農薬空容器の回収を行います。ルールを守って、回収にご協力ください。

「財団法人日本中毒センター」のお知らせ
・つくば中毒110番 0990-52-9899 ・大阪中毒110番 0990-50-2499

- 上球磨営農センター TEL 0966-42-6677
- 中球磨営農センター TEL 0966-45-2170
- 下球磨営農センター TEL 0966-28-3060
- JAグリーン上球磨 TEL 0120-576-060
- JAグリーンあぐり TEL 0120-548-251
- JAグリーン中央 TEL 0120-383-306
- JAグリーン下球磨 TEL 0120-643-211

高品質 低コスト 生産運動の実践

耕畜連携の実施
トレーサビリティへの取組